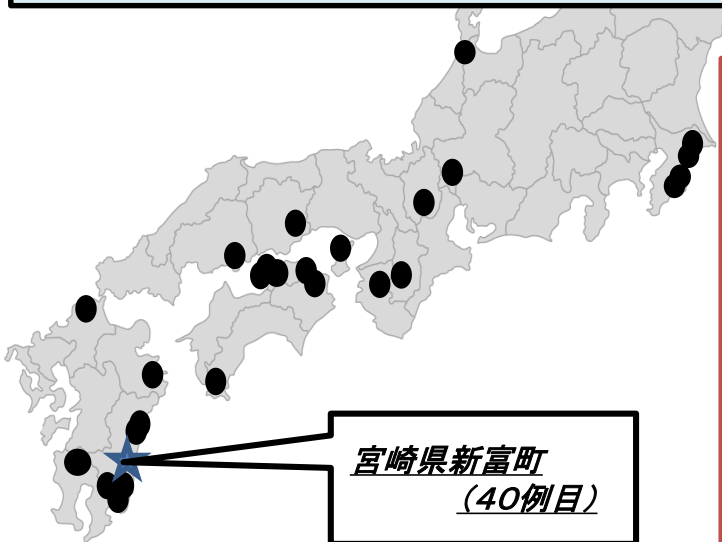


宮崎県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの 疑似患畜確認！（国内40例目）

1月31日、宮崎県新富町の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI H5亜型）の疑似患畜が確認されました。国内40例目、宮崎県では10例目の発生となります。

引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底、強化をしてください。

愛玩用の家きん飼育者のみなさまにおかれましても、消毒の励行、野鳥・野生動物侵入対策をお願いします。



★40例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 宮崎県新富町
- ・飼養状況 採卵鶏 約8万羽

【経緯】

- ・1月30日、死亡鶏増加の通報を受け宮崎県が立入検査を実施し、簡易検査で陽性を確認。
- ・1月31日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。

宮崎県新富町
(40例目)

今シーズンのウイルスは、感染してから死亡するまでの期間が長い傾向があるため、鶏の症状に注意を払う必要があります。

発生農場の疫学調査報告によると、はじめは寒冷や他の疾病による通常の死亡と思っていたら、急に死亡が増えたり、鶏舎内の一部に死亡が集中し始めた…といったケースも見られます。

いつもと違うと思ったら、家畜保健衛生所に連絡してください。

特に次の症状に要注意！

- 突然死や元気消失、死亡羽数の増加
- とさかの変色、チアノーゼ（青黒っぽくなる）
- 鶏の顔が腫れる
- 産卵率の低下

さらに詳しくは農林水産省HP…

[令和2年 鳥インフルエンザ](#)

